
Blue sky

霧夜 紅夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Blue sky

【Nコード】

N4722C

【作者名】

霧夜 紅夢

【あらすじ】

いつもど通りの生活をおくっていた雲楽空クモランラは突風によって飛ばされ、学校の屋上から落ちる。しかし、落ちた地面は花畑で、違う世界に行ってしまった。

1話・風に吹かれて（前書き）

とりあえず第一号の作品です。

お暇潰し程度に読んでください。

1話：風に吹かれて

ああ最悪な授業も終わり！
最っ高の昼休み

教室を飛び出した勢いで一気に屋上への階段を駆け上る

屋上のフェンスに掴まって

「勉強なんて大っ嫌い！」

こう叫ぶのが最高なんだ

B l u e s k y

「おーい！空ーっ弁当忘れてんぞー！」

「あ…ごめん」

僕の名前は雲楽 空

高校一年生

「たく、お前はいつもいつも…」

僕のお弁当を持ってきてくれたのは水季 春音

同じく高校一年生で幼稚園の頃から幼馴染みで男勝りな女の子。

学校では黒か茶髪（焦げ茶に近い）じゃないといけないのに金髪で
それも地毛。

それでいつも2、3年生から目をつけられる始末。（でも喧嘩は強
いから負けないけど）

お昼ご飯も食べ終わり、春音はそそくさと教室へ帰ってしまった。

今屋上には僕一人。

緑色のフェンスの前に目をつぶって立っている。

風が耳をビツと横切る。

それと同時に両手を広げ、真っ青で雲一つない空を壮快に飛ぶ白い鳥を思い浮かべる。

青い空にも染まらない真っ白な鳥を。

「風よ…。風よ風よ風よ！」

大きく息を吸い込んで、一気に叫ぶ。

別にゲームみたいに魔法とかが使える訳じゃないけど、何か魔法が使えたら…

なんて考えてる最中に今までとは比べものにならない位の風。突然の突風に堪えきれなくなって、体が宙に浮いた。

「あっ…」

もうそう思った時にはフェンスの外に投げ出されていた。急に止む風。

外に放り投げ出された僕の体。

鳥のように翼がある訳でもなければ、宙に浮けるような技もないから、当然重力に負けて落ちるだけ。

「うあああああああ！」

（誰か助けて！怖いよ！死んじゃう！）

そんなこと考えてても、助けに来てくれる人はいない。

しかも地面まであとわずか。（もうだめだ…！）

ドサッ

「…！」

(ああもう僕は死んじゃったんだ…)

でも、体中に痛みなんてものはない。

うつすらと目を開けて自分の体を見してみる。

「あ…れ？」

(死んでない…？僕生きてる！？)

でもなんか、左腕が変な方向に曲がってる気が…

「でもよかったー！生きてるー！」

なんて喜んだのもつかの間。

僕は目の前の光景に啞然とした。

一面に広がる花畑。

色々な花が咲く、言わば皆が良く言っていた三途の川がない天国図。
川がない所をみると、一応天国ではなさそうだ。

これで少しあんし…

「人間だー！」

(はい？)

恐る恐る後ろを見てみると、そこには一人の少女が…

「おいてめえ！ににに人間だろ！なんで人間がこんな所にいるんだ
よー！」

(こっちが聞きたいよ…)

とりあえず深呼吸して冷静に聞いてみる。

「君は…誰？というよりここはどこなんですか？」

「…。わ…私はリールって名前。本名はフレンゼント＝リフェール
＝ミラツサ

ここは風の町“ウインドタウン”って言うんだ」

「へえ…“ウインドタウン”か…」

「…お前人に名前言わせといて自分は自己紹介無しですか？」

「あ…ごめんなさい

僕の名前は雲楽 空って言います

君の言う人間だよ」

「ソラ…ふうん、いい名前じゃん

気に入った！」

「…はい？」

「気に入ったから私の家に泊まらせてあげるよ
どうせその左腕の手当てもあるしねっ」

「はあ…そうですか…」

訳が分からなくて苦笑いばかりの僕を余所に、どんどん話を進めて
行くリール。

(もうどうしたらいいんだ…)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4722c/>

Blue sky

2011年1月13日02時30分発行